

2020年4月30日

援助申請にあたって

【注意点】

- 事業経費総額に関わらず、1つの団体が当申請書に申請できる金額の上限は200万円です。ご承知おきください。
- 援助の対象は下記7つの項目に当てはまる支援活動に限ります。
 - 1) 住まいの確保：感染から身を守るための家や衛生環境の整わない路上生活者や難民の方々、自粛規制により住む家を失ったの方々（ネットカフェ住民など）
 - 2) 食糧衣料の確保：雇止めや解雇、倒産などによる生活困窮者への支援
 - 3) 居場所の確保：DVなどにより安心して過ごす居場所のないの方々（子どもたち）
 - 4) 滞日外国人のケア：外国人労働者、技能実習生、難民申請者、入管被收容者など
 - 5) 優先されるの方々へのサポート：独居高齢者、障がいをもったの方々など、生活上のサポートが必要なの方々
 - 6) 情報の保証：言語、障がい、独居高齢者、外国人などの理由で情報にアクセスできないの方々への情報の提供
 - 7) 医療支援：医療物資が届かない医療機関への支援、風評被害対策など

【援助申請書の作成について】

申請書は当団体の「コロナ関連援助申請書」の他に、A4サイズ5ページ以内で自由形式にて作成、提出してください。その際は以下の点をご記載ください。

1) 事業（援助プログラム）の背景

事業を実施する地域や実施対象者（受益者）の状況、解決されるべき課題、事業の必要性を記してください。

2) 事業の目的と達成目標

事業の目的と事業実施を通して目指す目標を明記してください。

3) 計画されている活動の概要

事業として計画されている活動の詳細、事業期間とスケジュール、実施体制などについて説明してください。また、活動への実施対象者の参加の可能性があれば記してください。

4) 実施対象者（受益者）について

実施対象者として想定している人数（性別による区別も含む）を記してください。

5) 事業の効果

事業が実施されたことにより期待される効果（実施対象者への影響など）について説明して下さい。

6) 評価方法

事業の進行状況のチェックならびに実施後の評価方法を記してください。誰がどのような方法で確認し、評価するか説明して下さい。

7) 予算

事業の収支予算書内訳を提示してください。

同じ事業に関して他の団体にも申請している場合や、援助を受けている場合はご明記ください。

8) 申請団体の情報

申請団体に関する活動報告（年次報告書など）の情報を申請書に添付してください。

【事業報告について】

事業終了後2ヶ月以内に報告書をご送付ください。

以上